

# 木曾義昌と定勝寺略年表

西暦	和暦	木曾義昌と主な歴史	定勝寺
1387年	嘉慶元年	木曾親豊 先祖の菩提を弔い定勝寺開創する	須原木曾川河畔に定勝寺を建立
1430年	永享2年	親豊 須原の館に住む	
1448年	文安5年		定勝寺流失（木曾川の洪水）
1454年	享徳3年		定勝寺2度目の流失
1467年	応仁元年	応仁の乱（木曾家豊東軍で出兵）	
1540年	天文9年	木曾家19代義昌生まれる	
1560年	永禄3年	桶狭間の合戦（織田信長が勝利）	
1565年	永禄8年		義昌の如意庵領安堵状（如意庵主ほ大叔父にあたる）
1579年	天正7年	木曾家18代義康没	
1582年	天正10年	本能寺の変（信長没）	
1590年	天正18年	小田原の戦い（豊臣秀吉の命） 義昌は家康の旗下で従軍（義昌病気のため長男義利が兵をひきいた） 家康配下の信濃の諸大名は関東へ転封 義昌は下総の網代へ移封	木曾は秀吉の直轄地となる 犬山城城主石川備前の守光吉が木曾の代官に任命される 定勝寺には安堵状が渡された
1595年	文禄4年	木曾義昌没	木曾川大洪水 （定勝寺3回目の流失） 光吉が洪水の危険を心配し、木曾義在の館跡へ定勝寺の移転工事を開始
1598年	慶長3年	豊臣秀吉没	現在の定勝寺の本堂が建立される
1603年	慶長5年	関ヶ原の戦 家康木曾を直轄領とする 木曾家旧家臣山村道祐に代官を命ずる	
1603	慶長8年	江戸幕府 木曾は尾州徳川義直の領となるが山村家は代々代官を務める	

## ※ そばきりと定勝寺

日本で最初に資料上でそばきりが確認できるのは天正2年定勝寺仏殿事記録です。

（「ソハフクロ」（そば袋）、「ソハキリ」（そばを麵状にしたもの）の記録あり）